

いのちの言の葉

「自分のいのちを精一杯生きていきたい」（総合的な学習の時間）

氷見市立朝日丘小学校 対象：5学年児童

富山県教育委員会 平成20年度いのちの教育支援事業 平成20年10月17日実施

「太田さんから学ぶ」

生体肝移植手術を乗り越え、今を精一杯生きている太田さんの話を聞き、自分の心、生き方を見つめ直しました。

太田 友恵さんのプロフィール

- 1998年 原因不明の劇症肝炎を発病し、生体肝移植手術を受ける
- 2001年 「世界移植者スポーツ神戸大会」（競泳競技）金メダル2個・銀メダル1個
- 2003年 「世界移植者スポーツフランス大会」（競泳競技）金メダル3個
- 2005年 「世界移植者スポーツカナダ・ロンドン大会」（競泳競技）金メダル3個



つらいことがあってもそこから逃げないで向き合うことが大切だと思いました。周りの人を勇気づける温かい心を持ちたいです。

「明日があるのは当たり前ではない」今を大事に生きている太田さんの心が伝わってきました。一秒一秒に感謝して毎日を過ごしたいと思いました。つらいことがあったら悩むけど、そこから逃げるのではなく、前向きに挑戦したいです。ぼくは、速いボールが投げられるよう、あきらめずに挑戦していきたくです。

【事前】

DVD「命見つめて」を視聴し、太田さんの生き方についての自分の考えをもつとともに、当日太田さんに質問したいことを確認する。

【本時】

太田さんに質問したり、太田さんの話から自分の心を見つめ直したりする。

【事後】

授業を振り返り、太田さんへ感謝の手紙を書く。

家族のやさしさがなければ、今の自分は生きていけない。家族に感謝しながら、自分のいのちを精一杯生きていきたいと思いました。

太田さんのがんばりや家族のやさしさが心にしみこんできました。自分是人前で話すのがはずかしくて苦手だけど、太田さんに出会って、はずかしいという気持ちが少し減ったような気がします。

太田さんからいのちの大切さを学びました。人生いろいろ苦しいこともあるけれど、それを乗り越えることが大切だと思いました。「努力することは素晴らしい」「つらくなった時こそ」等の言葉を聞いて、今やっているバドミントンで、苦しくてもがんばろうという気持ちができました。

